

# ☆☆東京民医連☆☆ 薬害根絶の会 news ♪

2012年7月26日発行 No.34

## もうすぐ薬害根絶デー！！ 今年の夏も薬害根絶を訴えましょう♪

### ☆薬害根絶デーの行動スケジュール☆

- 11:45～12:55 リレートーク (厚生労働省前)
- 13:00～13:15 碑の前行動 (厚労省前庭)
- 14:00～15:30 ワークショップ(薬害被害者との交流)
- 16:00～17:30 集会(日比谷コンベンションホール・旧都立日比谷図書館内)
- 18:00～18:30 街頭宣伝行動(銀座マリオン周辺)



### 全日本民医連『民医連のつどい』開催！

- 【前夜祭夕食交流会】8月23日(木) 18:30～20:30  
会場：日本橋レストラン東洋 (BrasserieTOYO)
  - 【民医連のつどい】8月24日(金) 9:00～11:30  
会場：AP東京八重洲通り
- 内容：学習講演 「薬害の歴史に学び民医連薬剤師に期待すること」  
講師：片平冽彦先生 (新潟医療福祉大学教授、健和会臨床・社会薬学研究所所長)  
\*詳細は全日本民医連通達をご確認ください。

## 第4回 薬害を学ぶ連続講座 ～スモンのお話～

5/22 スモン被害者 辻川さんの話に、参加者約30名(学生も多く参加)は、圧倒されながらも聞き入ってしまいました。

「キノホルムとわかって発表を躊躇する人がいた。正しいと思う事を、勇気をもってちゃんと行って欲しい」「人の痛みがわかる人

になってほしい」という言葉が印象的でした。原因の根拠となった尿の着色も人に寄り添った心の目がとらえたものでした。何事も自信を持って判断できるよう勉強を続けたいと思いました。



薬害根絶ってなに??シリーズ第2弾! 薬害エイズ事件

～裁判に携わった薬剤師 東葛病院 藤井さんとの対話より～

☆軽い自己紹介をした後、先ず質問をしたのは藤井さんからだった。

藤:「今、薬害について関わろうとしているその原動力は何?」

☆その思いのやりとりが、これまでやってきた思いであり、これからやっているとする思いを支えてくれるものだろうと直感した。

問:薬だけの学習や勉強では知り得ない、患者の思いに寄り添った感情が出てくる、そして被害を知ってしまったからには…という思いがある…と快活に答えた。

☆しかし、それだけでは行動できないし、継続できない。では、なぜ?

藤:被害者K君と同じ醤油で刺身を食べた時「正直箸が震えた」。偏見と認めなくても自分の知識は所詮こんなもんか…と心に重い痛みを味わった。

何とかしたいと思って行動するが受け入れてもらえない。今日の集會も世間は知りもしないだろう…そんな時「こういうのは行くもんだよ」って同世代の仲間が言ってくれた。逆に自分は引張られていた。まわりの反応を引き出していくとどれもとても嬉しく、活力になった。

みんなをその思いに気づかせてくれたのは紛れもなく「被害者のことば」だった。そして、人の痛みを感じる心がそれに反応した。

☆仲間が支えてくれた(お互いに)、たくさんの人の反応を知ることも大きな支えになった。

藤:人間の鎖、署名…これで何が変わるのだろうか…不安が波のように繰り返すけれど、行動しなきゃ、声にださなきゃ伝わらない、拡がらない。

☆話を聞いて、命は何よりも尊く、何にもかえられないもの。薬害をおこそうとする力がある限り、その被害から命(幸せ)は守られなければ!このことを、多くの仲間と共感したいと思った。P.S.藤井さん ありがとうございます



薬害根絶デー  
短時間でも・途中からでも  
ご参加ください!